

電子複写不可

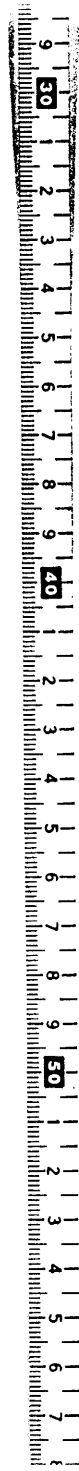
1511

奄美守備隊空襲詳報

昭和二十三年一月

防衛研究所戦史部

330
沖組



1152

8.

三一
空襲洋報

昭和二三
夜美守備隊

1153

14
R

軍事極秘

三月一日空襲詳報

昭和二十年三月
奄美守備隊

24103

三月一日空襲詳報

一 敵機來襲前ノ状況

ノ 守備隊ハ左記情報ヲ綜合シ南西諸島方面ニ空襲ノ算大ニルヲ顧慮シ二月二十八日一二
ニロ奄美全地區ニ警戒警報(内飛襲備)ヲ下令シ邀撃態勢ヲ強化ス

記

ハ 廈門情報 二十八日以後在支及太平洋方面米空軍ハ本土及南西諸島方面爆撃ヲ企圖シア
ルモノ如シ

ロ 二月二十七日島一機小録南西ヨリ侵入那覇入港中ノ船團ヲ攻撃沖繩本島全般ヲ偵察
南方ニ脱去

ハ 二月二十八日ロ九一〇頃ヨリ日機沖繩本島ヲ綿密ニ偵察中
ニ 大東島宮古島方面ニ連日哨戒機ノ來襲アリ

ホ 硫黄島方面ニハ依然有カナル機動艦隊アリテ其ノ動向極メテ警戒ノ要アリ
各部隊ノ状況

ハ 警戒警報下令セラルルヤ對空警戒部隊ヲ増強スルト夫ニ極力軍需品ノ分散秘匿
ニ努メ特ニ航空船舶関係部隊ハ各施設兵器器材ノ偽裝迷彩掩護施設ノ發
化ニ努メ敵機ノ銃爆等ニ對スル換官絶然ニ妥力セリ

二月二十八日 德之島 德艦隊南方回航第五〇一船團機帆船士隻本島海
峽古仁屋三八同カ夕谷山船團六隻外以幾ノ汽船六隻シアリタリ

三 天候氣象ノ概要

午前 曇 雲量一〇 雲高一〇〇米 視程二〇浬 南東ノ風三米
午後 右 高曇 雲量一〇 雲高一〇〇米 視程三〇浬 南東ノ風三米

二 離島概ニ德之島ト同様ナリ
敵機來襲狀況ト我艦隊狀況

三月一日 〇七四五頃 北東ニ敵機ノ爆音ヲ聽ク 直子ニ空襲夜警報ヲ發令ス
〇之ヨリ先 軍八〇七〇〇空襲警報下令セラレタルモ 同放送八〇八三〇受領セリ
八〇七五〇グラマンF四F一三 艦上戰鬥機四十五機(第一波)侵入 渡回後飛行
場ヲ銃爆轟シ爾後一六〇迄入次ニ互リ港灣ノ船舶及附近部ヲ銃爆轟ス
ス 飛行場附近ノ高射機關砲及兩前附近ノ北地區隊輕機關砲等必
中彈ヲ浴セ 戰果甚隆ニ 雲後四 我方ノ損害主トレモノ戰死三戰傷二ニ
行方不明四(以上ノ内戰傷三ヲ除ク外第五〇一船團所屬ノ機帆船六上十

二 大島 本島

三月一日 〇七三五―一五三〇ノ間 一波ニ三九機來襲 主文書目標船舶ニシテ
名瀬古仁屋等ヲ一部ヲ以テ銃爆轟ス

三 喜界島

〇八二〇第一波一四機北カヨリ侵入 早町港ヲ銃爆轟一五〇五―一五三五ノ間 二波
(五八機)ニ互リ海軍飛行場ヲ目標ニ銃爆轟ス 海軍高角砲邀撃甚
一機 雲破一機 我方機帆船一沈没ス

四 沖永良部島

〇七五〇―一六三五ノ間 延三五機ニ波ニ互リ來襲 知名港ノ海軍船舶及同部
ヲ銃爆轟ス

戰果甚破ニ 我方ノ損害戰死四戰傷四 機帆船二沈没
五 敵機來襲狀況等附表第一如シ

四 敵機ノ機種及攻法

1. 機種 グラマンF四Fト三艦上戦闘機ト判断セラル
2. 攻雷法 急降ト攻雷ヲ行フハ前例ト変リナシ 攻雷時ニ機乃至三機ノ警戒機ヲ
滞空セシメテ警戒及戦果ノ偵察ニ任ジアリタルモノ如シ
3. 戦訓並ニ將來參考トナルベキ事項
4. 偽施設及偽飛行機ハ敵ノ飛行場全段下降ノ四口ヲ吸收シ其効果大ナリ
而シテ同一偽飛行機ノ配置ニ於テモ滑走路内ニ配列セルモノハ吸收率少ク
ク掩体内ノ偽飛行機及森林ヨリ半ハ暴露セルモノハ吸收率大ナリ
5. 飛行場附近ニ近接セル若明ナル森林又滑走路ト誘導路ノ接合点並ニ十字
路等ニ對シテハ第一畫ヨリ被彈ヲ蒙レリ斯カル地形地物ニ接近シテ建物ヲ
建テ飛行機ヲ置キ又ハ部隊ヲ位置セシムル等ハ特ニ注意ヲ要ス
6. 棧橋附近及飛行場附近ノ部落ハ特ニ集中彈ヲ蒙レリ
7. 数波トナリ長時間ニ互リ及復未襲セラル場合ハ對空火器ハ敵ヲシテ發見シ得サ
シムル為努メテ同一陣地ヨリ射撃セザル者意ヲ必要トス 是レガ為數個ノ予備彈
地ヲ準備シ未襲間隙ヲ利用シテ屢々陣地ヲ変換スルヲ要ス
8. 尚又偽陣地ノ必要ナルハ多言ヲ要セズ
9. 船舶ノ完全偽裝ハ困難ナルモ為シ得ル限り泊地ノ状態地形地物等ヲ考慮シ
10. 刺意工夫以テ偽陣ニ努ムルコトト必要ナリ
11. 發煙筒ヲ各船ニ携行セシメ龍衣雷ヲ受クルヤ發煙筒ノ發火炎上セシメテ敵ヲ偽
陣シ又為シ得レバ煙幕ヲ展張セバ効果更ニ大ナリトス
12. 住民ニシテ屢次ノ空襲ニ押レ飛行機未ルモ避難セザルモノ敵機在空エセザ
ルニ待避ヲ續ケ活動ヲナサルモノ或ハ敵機在空中荷物ヲ運搬シ右往左往ス
ルモノ等敵ノ攻雷目標ニナル虞アルモノアリ
13. 今次空襲ニ依リ大災ヲ生ジタル民家ハ曳光彈ニ依ルモノ多シ 初期防火ニ
對スル精神の訓練ヲ殊ニ必要トス
14. 曳光彈ノ効率ハ大ナリ重機関銃以下ノ對空火器ニ使用スルヲ得バ實墜率早
上スルナラン(現在曳光彈ノ支給ナシ)
15. 後方謀略宣傳ノ為散板セシ左ノ如キ傳單ヲ拾得セリ(次頁ニ記載)
16. 我方ノ被害
17. 飛行場被彈状況附圖第一如シ
18. 人員ノ死傷附表第二如シ
19. 地方側ノ被害附表第三如シ

1. 機種 グラマンF四Fト三艦上戦闘機ト判断セラル
2. 攻雷法 急降ト攻雷ヲ行フハ前例ト変リナシ 攻雷時ニ機乃至三機ノ警戒機ヲ
滞空セシメテ警戒及戦果ノ偵察ニ任ジアリタルモノ如シ
3. 戦訓並ニ將來參考トナルベキ事項
4. 偽施設及偽飛行機ハ敵ノ飛行場全段下降ノ四口ヲ吸收シ其効果大ナリ
而シテ同一偽飛行機ノ配置ニ於テモ滑走路内ニ配列セルモノハ吸收率少ク
ク掩体内ノ偽飛行機及森林ヨリ半ハ暴露セルモノハ吸收率大ナリ
5. 飛行場附近ニ近接セル若明ナル森林又滑走路ト誘導路ノ接合点並ニ十字
路等ニ對シテハ第一畫ヨリ被彈ヲ蒙レリ斯カル地形地物ニ接近シテ建物ヲ
建テ飛行機ヲ置キ又ハ部隊ヲ位置セシムル等ハ特ニ注意ヲ要ス
6. 棧橋附近及飛行場附近ノ部落ハ特ニ集中彈ヲ蒙レリ
7. 数波トナリ長時間ニ互リ及復未襲セラル場合ハ對空火器ハ敵ヲシテ發見シ得サ
シムル為努メテ同一陣地ヨリ射撃セザル者意ヲ必要トス 是レガ為數個ノ予備彈
地ヲ準備シ未襲間隙ヲ利用シテ屢々陣地ヲ変換スルヲ要ス
8. 尚又偽陣地ノ必要ナルハ多言ヲ要セズ
9. 船舶ノ完全偽裝ハ困難ナルモ為シ得ル限り泊地ノ状態地形地物等ヲ考慮シ
10. 刺意工夫以テ偽陣ニ努ムルコトト必要ナリ
11. 發煙筒ヲ各船ニ携行セシメ龍衣雷ヲ受クルヤ發煙筒ノ發火炎上セシメテ敵ヲ偽
陣シ又為シ得レバ煙幕ヲ展張セバ効果更ニ大ナリトス
12. 住民ニシテ屢次ノ空襲ニ押レ飛行機未ルモ避難セザルモノ敵機在空エセザ
ルニ待避ヲ續ケ活動ヲナサルモノ或ハ敵機在空中荷物ヲ運搬シ右往左往ス
ルモノ等敵ノ攻雷目標ニナル虞アルモノアリ
13. 今次空襲ニ依リ大災ヲ生ジタル民家ハ曳光彈ニ依ルモノ多シ 初期防火ニ
對スル精神の訓練ヲ殊ニ必要トス
14. 曳光彈ノ効率ハ大ナリ重機関銃以下ノ對空火器ニ使用スルヲ得バ實墜率早
上スルナラン(現在曳光彈ノ支給ナシ)
15. 後方謀略宣傳ノ為散板セシ左ノ如キ傳單ヲ拾得セリ(次頁ニ記載)
16. 我方ノ被害
17. 飛行場被彈状況附圖第一如シ
18. 人員ノ死傷附表第二如シ
19. 地方側ノ被害附表第三如シ

11611

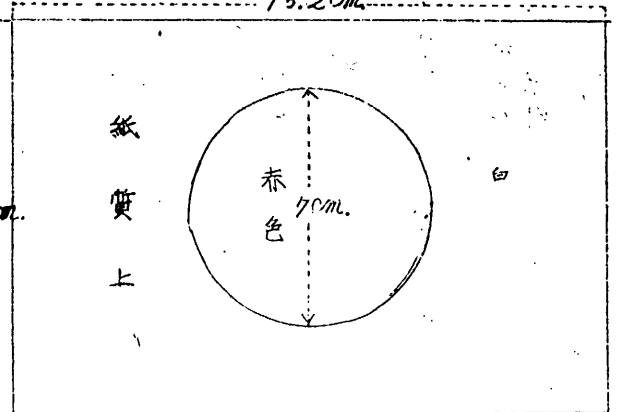
考 備	合 計	島 部	德	地 域	時 間	回 波	機 數	高 度	目 標	的 投	下 彈	我 隊	戰 果	射 耗	損 害	人 員	船 隻	船 隻	
	四五	二五	九〇 八〇 七〇 六〇 五〇 四〇 三〇 二〇 一〇	德島 香島 高島 尾道 下関 山口 徳島 高松 松山 坂井	〇七 〇八 〇九 一〇 一一 一二 一三 一四 一五	二波 四波 五波 六波 七波 八波 九波 十波 十一波	二五 四〇 五五 七〇 八五 一〇〇 一一五 一三〇 一四五	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部	敵艦 敵機 敵船 敵艇 敵砲台 敵陣地 敵交通線 敵倉庫 敵司令部 敵司令部

敵機來襲狀況、我邀撃戰開狀況及被害一覽表

附表第一

1159

表



裏

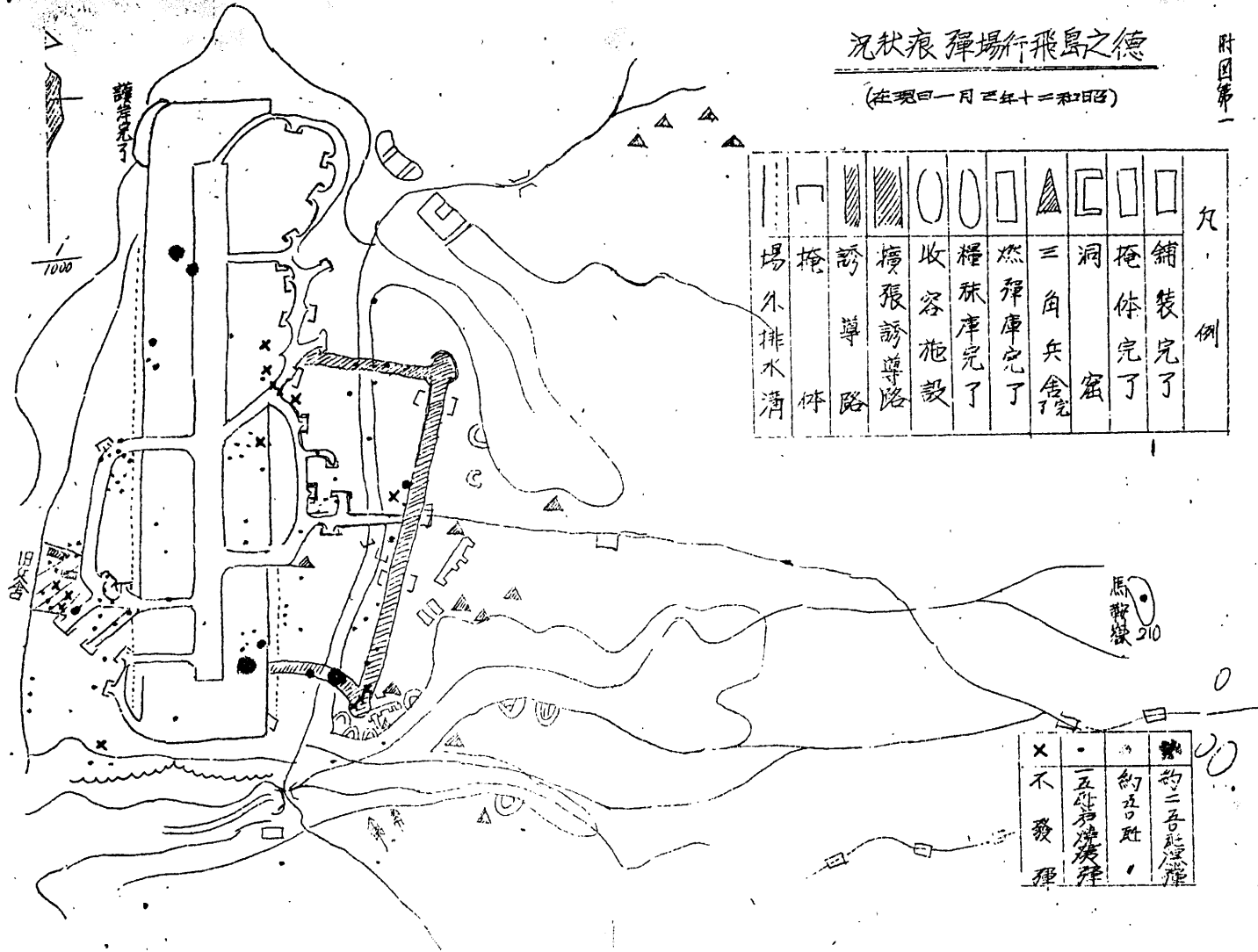
日本は國難に直瀕して居る
諸君は今自分の名譽や希望を
考へてゐる時ではない
斯様な場合日本人として如何に
すべきか大死するは本當に甲斐
の無い事である日本は戰事に
敗れてゐる大切な國家までも失つ
てはならぬ 民族を保存し救後
はより善く日本の建設を援助せ
よ

1161

德之島飛行場痕跡狀況

(昭和二十二年一月一日現在)

附圖第一



┆┆┆	┆	▨	▨▨	○	○	□	▲	□	□	□	丸
場外排水溝	掩体	誘導路	擴張誘導路	收容施設	糧秣庫完了	燃料庫完了	三角兵舎院	洞窟	掩体完了	鋪裝完了	例

×	・	○	●
不發彈	五發未發彈	約五發	約二五發

附表第二

人馬死傷表

隊名	區分	戰死				戰傷				行方不明	合計	
		將校	下士官	兵	軍屬計	將校	下士官	兵	軍屬計			
大喜地區隊				四			二	二				
第一獨立整備隊							三	三				
第六〇四船團		二		九		四		三				
第五〇一船團				三		一〇		九				
海軍				二		一		三				
合計		二		九		一五		一七		三	六	六

備考：第六〇四船團行方不明八下士官一兵四下士

附表第三

地方側損害

計	行方不明	半壊	全壊	半焼	全焼	負傷	死亡	區分		家畜家屋	摘要
								男	女		
一七	六					五	三				
九						二	七				
一七						七	一〇				
六〇		八二	七一	八	四三六						
	行方不明	徳之島二 大島本島七 喜原島三	徳之島三 大島本島六八	徳之島五 喜原島三	徳之島二六三 沖永良部島一七三	大島本島七	徳之島四 八島本島六				